

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
手話 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	村越啓子			実務 経験	有	職種	大学講師				
授業概要											
日本手話実技とろう文化を学ぶ。											
到達目標											
日本語とは異なる独自の体系をもつ言語である日本手話を理解し、探求する力を身につけるために、1つ目に手話のごく限られた要素とその組み合わせ方といったしくみである音韻構造を理解する。2つ目に文を作る時のしくみを知ることが重要であり、日本手話の文法を理解する。3つ目に聴者では適切な行動だと思われることが、聾文化において不適切だと思われる行動があることを理解することを到達目標とする。											
授業方法											
講義形式で授業を行う。日本手話とは、日本語とは別の言語であって、日本語を手指で表現するものではなく、聾者同士が日常的に用いている言語である。授業形態は会話を中心に進める。また、日本手話の基礎を身につけ、あわせて聾者の独自の文化を学ぶ。											
成績評価方法											
定期試験と課題、授業時間内に行われる発表方法・内容にて評価する。											
履修上の注意											
日本手話では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、聾文化への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（はじめての手話一生活書院改訂新版一）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	スポーツ：スポーツについてたずねる（経験の有無、始めた時期、スキルの程度等）										
第2回	旅行（1）北海道や沖縄への旅行体験等を聞く（目的、家族旅行、修学旅行、到達最北／最西地点等）										
第3回	旅行（2）海外旅行の旅行体験等を聞く（目的、個人／ツアー、費用、期間、手段等）										

## 柔道整復科

## 手話 2

第4回	病気と怪我（1）病気、ケガについてたずねる（主な病名、怪我や病気の部位、程度、原因等）
第5回	病気と怪我（2）病気、ケガについてたずねる（入院／退院、通院、服薬、手術等）
第6回	通信スマホについてたずねる（通信会社名、メーカー名、頻度、目的、費用等）
第7回	乗り物自分の所有する乗り物についてたずねる（自動車／バイク／自転車、新車／中古、免許の有無、予算、免許取得や購入予定の有無）
第8回	実技試験 1 回～7 回目に関する実技試験
第9回	動物・干支干支やペットについてたずねる（干支、ペット、買う／もらう、飼育方法等）
第10回	休みの過ごし方年末年始の過ごし方についてたずねる（大晦日／正月、初詣、大掃除等）
第11回	住まい（1）自分の住まいについて話せるようになる（家／寮、家賃、部屋の間取り等）
第12回	住まい（2）部屋にあるものについて話せるようになる（家具、家電等）
第13回	病気と怪我（1）肩こり、腰痛についてたずねる（痛みの部位、どんな痛み、痛みの程度等）
第14回	病気と怪我（2）テーピングや注意について言えるようになる（包帯の巻き方、助言の仕方）
第15回	復習 9 回～14 回までの振り返り